



平成24年 1月16日(月)  
No.44

江戸川区立第六葛西小学校  
校長 伊藤 辰久

江戸川区西葛西4-5-1 電話(3688)0485・Fax(3688)0510  
メールアドレス: kasai6s@EDOGAWAKU.ed.jp

## 三学期も『がんばりましょう』

10日の始業式に引き続き、11・12日は『書初め大会』。1字1字心を込めて書きあげました。6年生の「あいさつ運動」も始まりました。三学期の「めあて」もしっかり決め、どの子もエンジン全開の1週間でした。



(3~6年生は「毛筆書初め」)



(1・2年生は「硬筆書初め」)



(緊張の面持ちで「始業式」)

## あいさつは心と心をつなぐもの

### 6年生が『あいさつ運動』(1月11日~2月7日)

「みんなが気持ちの良い挨拶を進んでできるようになりたい。6年生が下級生のお手本になろう。あいさつは、心と心をつなぐもの」と、6年生による「あいさつ運動月間」が始まりました。

1月11日の朝から2月7日まで、6年生がグループになって校門に立ち、登校してくる子どもたちに対して元気のよく朝の挨拶をする活動を進めることになりました。

あと3ヶ月で卒業する6年生。6年間お世話になった第六葛西小学校に残していけるものはないかと相談をするなかで「物」ではなく「心」を残しておこうということで、4年前から「あいさつ運動月間」が始められ、それが伝統の活動となりました。

11日(水)の朝、さっそく西門と東門に分かれ、朝の挨拶開始されました。最初は、照れくささもあつたようですが、次第にしっかりした挨拶になっていきました。登校してくる子どもたちも10日の始業式の時に、生活指導主任の小松先生から「あいさつ運動」のことを聞いており、明るく「おはようございます」と挨拶を返していました。



(校門であいさつする6年生)

オアシス あいさつ  
①はようございます  
②りがとうございます  
③つれいします  
④みません  
⑤かるく  
⑥つも  
⑦きに  
⑧づけて

「ちょっと勇気がいるけれど、思い切って声を出してみよう」 なかなか挨拶を声に出して言うには勇気のいることです。挨拶をすることで話をするきっかけづくりになったり、友達関係が良くなりました。「きっと変わる なにかが変わる」こんな期待をもってあいさつをかわし合い、気持ちの良い挨拶が交わしあえ、「心」が交わしあえる第六葛西小学校になっていく。そのきっかけに6年生の「あいさつ運動」がなっていくことを願っています。

運動会で全校を圧倒した力強い124人の組体操の「ピラミッド」の成功、音楽会で会場を魅了した合唱「ウエストサイド物語」や「マンボ!」の演奏、代表委員会やクラブ、委員会活動など、いつも全校の先頭にとって頑張った6年生。「あんな6年生になりたい」とみんなが慕った6年生。「素敵な6年生、頼りになる6年生」としての6年生の活動ぶりは、きっと良き伝統として子供たちの心にのこり、引き継がれていくことを確信します。

# 『明るく 楽しく 元気よく』の精神で

本校は、明るく楽しく、元気よく、学ぶ姿勢を大切にし、児童の個性を伸ばすことを目指しています。また、地域社会と連携し、児童の成長を支援していきます。

本校は、児童の個性を伸ばすことを目指しています。また、地域社会と連携し、児童の成長を支援していきます。

本校は、児童の個性を伸ばすことを目指しています。また、地域社会と連携し、児童の成長を支援していきます。

本校は、児童の個性を伸ばすことを目指しています。また、地域社会と連携し、児童の成長を支援していきます。

本校は、児童の個性を伸ばすことを目指しています。また、地域社会と連携し、児童の成長を支援していきます。

本校は、児童の個性を伸ばすことを目指しています。また、地域社会と連携し、児童の成長を支援していきます。

本校は、児童の個性を伸ばすことを目指しています。また、地域社会と連携し、児童の成長を支援していきます。

本校は、児童の個性を伸ばすことを目指しています。また、地域社会と連携し、児童の成長を支援していきます。

本校は、児童の個性を伸ばすことを目指しています。また、地域社会と連携し、児童の成長を支援していきます。

本校は、児童の個性を伸ばすことを目指しています。また、地域社会と連携し、児童の成長を支援していきます。

本校は、児童の個性を伸ばすことを目指しています。また、地域社会と連携し、児童の成長を支援していきます。

ます。  
に活用し、子どもたちの知的好奇心をいそ  
る学校」づくりを進めます。  
・「たてわり班お別れ会・給食」：3月7日  
：1月14日（土）  
（土）

の内面に迫る指導を進める  
。生活のルールや規範意識なども学習過程  
せん。「子どもに間違いはあるもの。そこ  
）返し指導する」「説得と納得の指導」に  
りの心や協調性など、心を育む学校」づく  
。  
の連携を密にして対応します。  
もと、人権尊重の精神を培い、人間としてあ  
ール」「市民道徳」など、規範意識の高揚に

をめざし、様々な教育活動を通じて、児童  
発揮でき、達成感や充実感、自己肯定感な  
す。  
究の成果と教訓、手法などを明確にし、次  
き継ぎます。  
りかせ」ボランティア、「ろくっこぶっくま  
うの活発化を図ります。

地域と共に推進する  
2月に「ユニセフ募金」を取り組みます。  
関わる取り組みを通じて、自らの命を守る資